

今週は過去形。最後は様々な用法を取り上げる。今回は例文から取り上げ、随所で解説する。

(例)

- Я думав, що ти тут. (私は君がここにいるんだと思った。)

この文には2つの文をつないで1つにする **що** があるが、これを使うことによる時制の一致は発生しない。

- Я не знав, де він. (私は彼がどこに居たのか知らなかった。)

こちらも上記と同様に時制の一致は必要ない。

- Коли мені було двадцять років, я жив на Хоккайдо. (私は20歳のとき北海道に住んでいた。)

単語 **коли** は疑問詞のときは「いつ」という意味で使われるが、このように「～のとき」という意味で使うことができる。この際時制は一致しておくほうがよい。

- Мені хтось подзвонив. (誰かが私を呼んでいた。)

これは語順が交替しているが、意味の変化はない。4月末ごろに解説したようにウクライナ語では主語、動詞、目的語のうちそれぞれの関係性がはっきりしていれば語順を無視できる。極論を挙げるとすれば **хтось** と **мені** を入れ替えて日本語と同じ語順にしたとしても通じる。

◇単語集

単語	意味
буйвол	バッファロー
восьминіг	タコ
вугор	ウナギ
десь	どこか
дзвонити	呼ぶ、電話する
дикий	野生の
з'явитися	現れる
кальмари	イカ
креветки	エビ
лев	ライオン
медузи	クラゲ
непарне число	奇数
парне число	偶数
себе	～自身
трава	草
тунець	マグロ
хтось	誰か
щось	何か

□練習問題(復習を含む)

ウクライナ語を和訳せよ。

- (1) Лев їсть м'ясо.
- (2) Він думає, що восьминіг і кальмар це одне й те саме.
- (3) З'явився дикий буйвол.
- (4) Містер Ямада пив яблучний сік.
- (5) Це Сахалін, ви бачили Японію?
- (6) Навесні і влітку, вона в японії, а восени і взимку, вона в австралії.

※навесні: 春には, влітку: 夏には, восени: 秋には, взимку: 冬には

▲次週以降の予定

日付	内容	備考
06-26	未来形	スキットあり
06-27	接続詞	
06-28	与格主語	
07-03	単語力増強週間(1)	スキットあり
07-04	単語力増強週間(2)	スキットあり
07-05	単語力増強週間(3)	スキットあり
07-10	未定	スキットあり
07-11	未定	
07-12	未定	

単語力増強週間は動画版では復習回。

ウクライナ語 第33回

2023-06-21

-----Memo-----